

と見直しを迫った。担当の方は頭を抱えていたが、作業を1週間延期し、私たちに伐採すべきでないと思う木をリスト化することを求めた。

そこで翌日小雨の中、木を調べて本数の少ない樹種は残す、何本も株立ちしている場合は少なくとも一本残す、根元伐採を避けて剪定にするなどの基準で、救うべき木をリスト化して10月9日(金)の夕方提出した。気を揉みながら週末を過ごし、月曜日を待った。一緒に要望に行った小口さんから電話があり「信じられないことに全部受け入れてもらえました」との朗報だった。

私たちは桜偏重の小金井市の樹木管理を小平に広げて欲しくないという要望書を小平市と東京都に出したところだったので、都による集中伐採は要望書の趣旨が無視された形だった。小平市では玉川上水の樹木伐採の際には東京都、小平市、市民の3者が合議する「小平方式」を実施してきたが、それも無視されたことになる。そこで改めて伐採のあり方についての要望書を小平市と水道局に提出した。驚いたことに伐採のために毎年1億円もの予算が計上されているということだった。知らないことがたくさんある。玉川上水の樹木伐採について目を光らせておかないといけないと思った。



シロダモの実

署名活動+ミニ観察会

@小平中央公園南西入口(兔橋)

2月7日(日)、3月7日(日)

※1月はお休みです。

・10:00-10:30 玉川上水保全署名

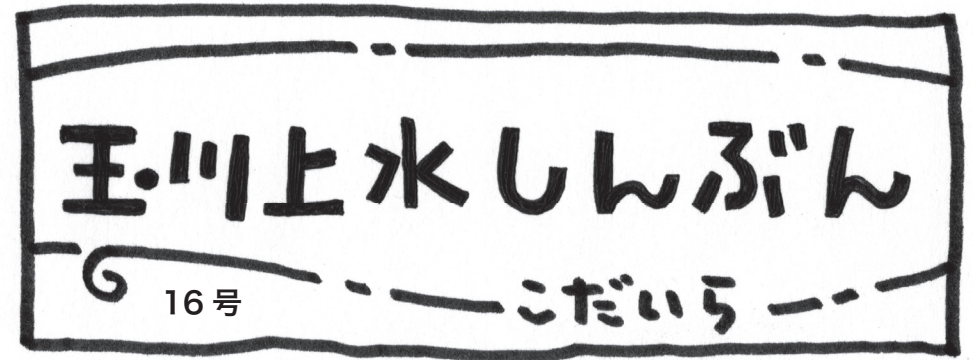
・10:30-12:00頃 ミニ観察会

案内:大石征夫さん

問合せ:090-8341-9170(水口)

参加費カンパ(100円~)をお願いします。雨天中止。

*玉川上水しんぶんメール配信の申込みは以下へお願いいたします。midoritsunagari@gmail.com



発行日:2020年12月6日

題字:石渡希和子

発行人:みどりのつながり市民会議 <https://midoritsunagari.wordpress.com/>

問合せ先:電話 090-8341-9170 メール midoritsunagari@gmail.com

コナラの根元の白い粉は何?

玉川上水でもナラ枯れが!

小平市水と緑と公園課の調査では、今年の8月から市内の保存樹林でおよそ100本のコナラの木が枯れました。ナラ枯れです。玉川上水でも、小松橋~東鷹の橋の北岸でおよそ30本のコナラが完全に枯れているのを確認しました。西日本の日本海側から徐々に東進してきました。

ナラ枯れでは比較的太いコナラの木の地表近くにノコギリの切りくず様の白い粉が見られます。白い粉のあたりには小さな穴を見ることが出来ます。その木を見上げると葉が枯れているのがわかります。



カシナガ穿入跡の白い粉

ナラ枯れの仕組み

ナラ枯れは「カシノナガキクイムシ」(以降カシナガ)という5ミリ位の小さな昆虫によって引き起こされます。

カシナガは春先に枯れたコナラの木から飛び出し、別のコナラの木に飛来します。穴を開けて木の中に入ったら、集合フェロモンによって何百、何千というカシナガを呼びこみ、木を枯らします。およそ1~2週間で木は枯れてしまいます。カシナガの背中にはナラ菌(カビの仲間)が共生しています。この菌が木の水分を吸い上げる管を閉塞させ、木が枯れるという訳です。また、カシナガは木の中でアンブロシア菌(酵母の仲間)も繁殖させます。カシナガの幼虫はこの菌を食べて育ちます。

ナラ枯れの対策

小平市内の保存樹林のナラ枯れは、倒木や枝の落下の危険があるため、伐採し焼却する必要があります。水と緑と公園課では、来春までには処分するとのことです。更に来年度以降の予防策については、専門家と協議をするそうです。一方、玉川上水緑道のナラ枯れについては、東京都の野川公園サービスセンターが対応しています。11



月上旬には対策の看板が掛けられていました。看板には「冬の間枯木の伐採や薬剤注入など対処を行います」と書かれています。

ナラ枯れ対策の他の方法としては、A4サイズの透明ファイルを使ったカシナガの捕獲方法(写真)があります。材料は百均でも購入することが出来ます。ナラ枯れ対策は人海戦術でもありますから、自治体と付近住民が協働して何かできるといいと思います。(松山)

玉川上水の集中伐採を回避

玉川上水花マップネットワーク代表 高槻成紀

今年の9月に玉川上水の喜平橋と茜屋橋の間の木にたくさんの赤テープが巻かれているのに仲間が気づいた(写真1)。

その本数は180本もあり、通常の伐採密度の10倍以上だということがわかった。市街地の緑地だから、強風で木が倒れると支障が出る。そういう危険性のある木を間引くのは必要だと思うが、この集中伐採が実施されたら林



写真1 木には軒並み赤テープが巻かれていた

がなくなってしまう。これはいくらなんでもひどいと思い、仲間と伐採にあたる東京水道(株)に事情を聞きに行った。話を聞くと住民から伐採の要望があること、一昨年台風による倒木で停電が起きたので、この地区を集中的に伐採することになったとのことだった。そこ



写真2 小金井市の皆伐のようす

で小金井市での皆伐の写真(写真2)を示して「こうなってしまいますよ」と訴えたら「そうなります」という返事だった。

それは小平市民の期待するものと違うし、生物多様性の考え方に反する